

Annual Report

2024

KIRIN KODOMO
OUENDAN

全
て
の
こ
ど
も
達
が
自
分
の
未
来
に
踏
み
出
せ
る
場
所
を
創
造
す
る



NPO法人
麒麟こども応援団

2024年度活動報告書

想いが循環し、 社会を照らす。



「お米を買うことができない」「生きるということを諦めてしまいそう」

物価高の影響による食料価格の高騰により、生活に苦しむ子育て世帯からの深刻な相談が相次ぎました。その度に、食材だけではなく応援の気持ちを送り続けました。その後、寄せられる感謝のメッセージには「多くの人に助けていただいた恩をいつか社会に返したい」という言葉もあり、いつか優しさの連鎖が社会を照らしてくれるのではないかと期待しています。

貧困とは、遠い世界の話ではありません。でも、その状況にならないと気づかないものです。

また「貧困」と一言でいってもさまざまな事情があることを気づかされる日々でした。事情があり離婚してひとり親を選んだ家庭、養育費が途絶えたひとり親家庭、夫はいても生活費を入れてもらえない家庭、働きたくても病気で働くことができない家庭。そこには、当事者しか分からない事情があります。「親がしっかりするべき」というのは簡単です。

しかし、私たちは、そこで育つ子どもたちを想います。子どもたちには何の責任もありません。

だからこそ、私たちの活動は、どんな家庭であっても「子どもたちが食事に困るという状況をなくしたい」という強い想いで活動しています。

「行政がやるべき」といった意見をいただくこともあります。

でも、行政ができることとNPOができることは違います。だからこそ、行政とNPOが力を合わせて、できるだけ多くの苦しむ人たちを包み込んでいけるような社会を目指したいのです。

これを読んでくれている皆様を含めて、「社会をよくしていこう」と考える人が1人でも多くなっていくことが、社会を照らしていくことではないでしょうか。

きっと、助けられた子どもたちや子育て世帯は、こう感じてくれているはずです。
“自分たちは1人ではない”と。

そして、いつか他の誰かを想う日がくると信じて。

キリンこども応援団は、これからも苦しむ人たちを全力で応援していきます。

応援は「生きる力」になると信じています。

NPO法人キリンこども応援団

水取 博隆

理 念

全ての子ども達が
自分の未来に踏み出せる
場所を創造する

私たちは、子どもたちが安心して過ごせる居場所を創り、さまざまな体験活動を通して自信をもって自分の未来に踏み出せるよう支援しています。

居場所とは空間のことではなく、そこで生まれる人間関係・信頼関係であると考え、子どもたち自身が「チャレンジしたい!」と思うことを“一緒に全力で”応援していきます。



麒麟こども応援団の概要 (2025年6月時点)

設立	2018年7月(法人化 2021年10月)	職員数	35名
代表理事	水取 博隆	事業	こども食堂麒麟の家
理事	唐治谷 三智子・井伊 唯・佐野 彩記子 川上 智子・北川 早百合		学習支援事業まなBell フリースクール麒麟のとびら オンラインフリースクールclulu 南大阪こども食堂ネットワーク フードバンク泉佐野(泉佐野市委託事業) こども朝食堂(泉佐野市委託事業)
監事	西村 拓憲		
事務局長	竹田 佐織		

麒麟こども応援団は日本財団の
「子ども第三の居場所」助成を受けて運営しています。

「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達の特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残さない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。



私たちは、全ての活動において、今日を応援する「今の支援」と共に、将来を応援し自立を目指す「未来への支援」を行っていきます。
 キリンこども応援団だからこそできる、一つひとつの“とびら”を共に開け、最後は自分の進みたい未来に繋がっている「どこでもドア」を自身で開けられるよう支援していきます。

こども食堂キリンの家

(さのだい拠点・まちば拠点)



開催回数 **198回**

参加者(延べ) **3,158人**

こども食堂を月16回開催し、食事を通して子どもたちが安心して過ごせる場所を作ることができました。



こども朝食堂

(泉佐野市委託事業)

開催回数 **250回**

参加者(延べ) **16,787人**

朝ごはんを提供する小学校が3校から5校に増えました。多くの子どもたちに手作りの温かい朝ごはんを提供することができました。



フリースクールキリンのとびら (本校・まちば校) オンラインフリースクールclulu



相談件数 **135人**

在籍数 **35人**

キリンのとびらでは、2024年4月に高等部を開校しました。通信制高校である代々木高等学校と連携することで高校卒業資格の取得も可能とし、高校生が生き方や働き方を探求できるようサポートします。



フードバンク泉佐野

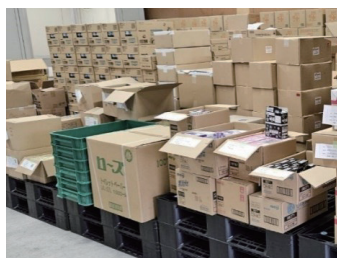
(泉佐野市委託事業)



協力団体 **132団体**

取り扱い重量 **40.5トン**

協力団体・取り扱い重量ともに大幅に増加することができました。フードロスに寄与するとともに、必要とされる団体や施設に多くの食材を提供することができました。



コミュニティフリッジ泉佐野

(食材支援)



登録世帯数 **189世帯**

属する子どもたち **362人**

利用回数 **6,257回**

お渡しした食品数 **47,744品**

ひとり親世帯に加え、さまざまな事情で行政支援を受けることができない困窮する子育て世帯が対象。登録世帯が180世帯を超え、困窮世帯の食を支える支援となっています。



子どもたちの「やってみたい!」を実現する体験事業

こども食堂に通う
中学生が開発する

「泉佐野ギョーザ」

泉佐野ギョーザ開発プロジェクトの中学生たちがさまざまなイベントに出店したことで、地域の知名度が大幅アップ!現在、飲食店の採用30店舗を目指して活動しています。
2025年9月には大阪・関西万博に登壇予定です!



こどもカフェ

お福wapi

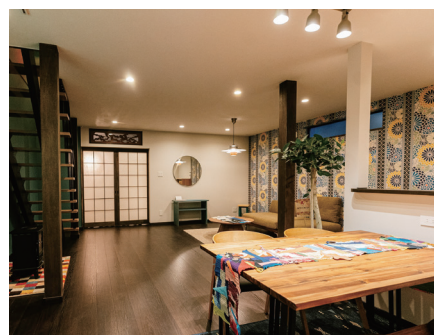
フリースクールに通う子どもたちが運営する「こどもカフェ・お福wapi」。石川県の被災地や東京・日本財団ビルでのチャリティー出店を行いました。メニュー考案、原価計算、調理、接客まで子どもたち自身が行います。



高校生が経営する

民泊施設 compass

195人の方々からクラウドファンディングを通して560万円を超えるご支援をいただき、フリースクール高等部の子どもたちが経営する民泊施設 compass が2025年2月にオープンしました。



南大阪こども食堂ネットワーク

「こども食堂を立ち上げやすく、続けやすい地域にしていけるために」南大阪(高石市~岬町)のこども食堂運営者を支援しています。新たに2団体の立ち上げを支援し、既存団体61団体の継続支援を行いました。



登録団体数 **61団体**

(こども食堂125か所のうち、約50%が登録)



南大阪で活動する

こども食堂をつなぎ

そして広げる



2024年度活動計算書

2024年4月1日～2025年3月31日まで

科目		金額
経常収益	受取会費	50,000
	受取寄付金	23,900,344 ①
	地方公共団体等受取補助金	7,960,000 ②
	民間団体等受取助成金	38,486,345 ③
	事業収益	52,843,124 ④
	その他収入	1,567,036
経常収益合計		124,806,849
経常費用	(1) 事業費	
	給与手当／法定福利費	31,140,659 ⑤
	旅費交通費	2,534,066
	通信運搬費	1,657,597
	消耗品費／事務用品	10,717,259
	印刷製本費	61,148
	保険料	167,300
	諸謝金	390,500
	雑費	417,015
	活動費	3,013,668 ⑥
	賃借料／地代家賃	3,555,328
	光熱費	854,634
	外注費／修繕費	6,318,383
	広告費	99,818
	交際費	60,550
	会費／会議費	1,677,936
	支払助成金／支払手数料	4,483,015 ⑦
	減価償却費	4,244,476
	事業費合計	71,393,352
	(2) 管理費	
	給与手当／法定福利費	6,930,606 ⑧
	その他経費	5,138,175
	管理費合計	12,068,781
経常費用合計		83,462,133
当期経常増減額		41,344,716
税引前当期正味財産増減額		41,344,716
法人税、住民税及び事業税		111,600
当期正味財産増減額		41,233,166
前期繰越正味財産額		89,287,631
次期繰越正味財産額		130,520,747 ⑧

① 受取寄付金

前年から約1735万円の増収となりました。マンスリー・サポーターは50名を超え、多くの皆様からご支援いただきました。またクラウドファンディングを通して約566万円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

② 地方公共団体等受取補助金

泉佐野市・大阪市・大阪府からの補助金が含まれています。補助金で不登校講演会の開催や、フリースクールの授業料減額を実施しました。

③ 民間団体等受取助成金

公益財団法人日本財団・独立行政法人福祉医療機構・公益財団法人電通育英会・認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ・ロートこどもの夢基金などから活動に助成いただきました。

④ 事業収益

行政からの委託事業であるフードバンク泉佐野・こども朝食堂(5校)の委託費やフリースクール月謝、こども食堂・フリースクールの子供たちによる体験事業の物販収益が含まれます。

⑤ 給与手当／法定福利費

活動の広がりとともにスタッフを増やし、職員が35人となりました。また近年の物価上昇や生活費の高騰を踏まえ、スタッフの生活安定を図るため賃金の引き上げを実施しました。

⑥ 活動費

子供たちによる体験事業費となります。泉佐野ギョーザの開発や被災地・能登島での子供たちによる復興支援、東京でのこどもカフェ開催の経費が含まれています。

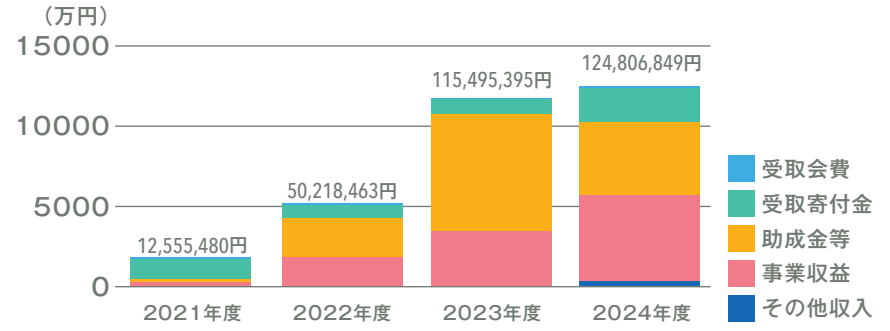
⑦ 支払助成金／支払手数料

南大阪こども食堂ネットワークを運営し、地域のこども食堂の立ち上げ資金の支援や運営資金の支援を行いました。なお、元となる原資は民間助成金によるものです。

⑧ 次期繰越正味財産額

前期と合わせて大きな金額が繰り越させているように見えますが、この内約7000万円が建物・備品の固定資産であり、実際の現金の繰越は約6000万円となりました。NPOは銀行融資などが他法人に比べて難しいため、外部環境の変化に耐えやすくするため無収入寿命6か月を基準に内部留保をしています。

経常収益内訳 4期比較



第4期を終えて・・・

今年度はたくさんの方のご支援で活動を大きく広げることができました。また、昨年度から目標にしていた収入内訳のバランスも整いつつあります。来年度は、この資金を土台に支援体制を整え、苦しむ子育て世帯への食料支援を更に強化します。現在、物価高の影響による食料価格の高騰により、苦しむ子育て世帯からの深刻な相談が相次いでいます。苦しむ子どもたちや子育て世帯を物心両面で全力応援していきたいと思っています。引き続き応援の程、よろしくお願いいたします！



フリースクール
キリンのとびら 本校担当

唐治谷 三智子

2024年度もキリンのとびらという居場所を私たちとともにお守りいただき、この居場所を必要とする子どもたちやご家族へ、皆様の愛をいっぱいに届けていただきましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、一年間を子どもたちと歩み切ることができました。皆様の想いと私たちの歩みがいつも重なり合っているよう、今後もスタッフ一同努めてまいります。



オンラインフリースクール
clulu 校長

篠田 想

「cluluを作ってくれてありがとう!」「この出会いがなければ毎日が楽しいと思うことはなかったかもしれない」子どもたちが最近私に伝えてくれた言葉です。それだけ子どもたちの人生を大きく変えられる可能性のある居場所だと感じながらも、周りの方々の助けがあり、ここまでやってくることができました。「日々感謝」の心を忘れず、これからも子どもたちのために邁進していきます。



フードバンク泉佐野
責任者

川上 智子

食品の価格高騰が生活に影響し、フードバンクから困窮者世帯を支援する団体への提供量は増加、コミュニティフリッジの利用者数も増え、「食」の支援の必要性が高まっていると感じます。事業の形はさまざまですが、色んな方向から子どもたちの未来・笑顔を応援していきたいと思っています。いつもご支援ありがとうございます。



フリースクール
キリンのとびら 高等部担当

太田 貴之

2024年度もたくさんのご支援ありがとうございました。高校生は民泊施設の経営を通して、人と人との関わりや事業を自分たちで進めていく難しさを学ぶ1年となりました。多くの方々のご支援のおかげで、高校生の学びの機会があると日々感じています。子どもたちがキリンでの活動を通して自信を持って未来へ歩んでいけるようにサポートしていきます。



こども食堂キリンの家

井伊 唯

子どもたちは、「キリンの家があったからこそ、たくさんの挑戦や体験を通してこんなにも成長できた!この場所があって本当に良かった!」「スタッフ、そして応援して下さる皆さんのおかげだ!」と何度も口にしています。皆様が温かいご支援を続けてくださることに心より感謝いたします。



法人事務局
事務局長

竹田 佐織

日々の活動をいつも温かく支えてくださる皆様に、心より深く感謝申し上げます。2024年度も子どもたちの未来のために、できることを一つずつ、丁寧に積み重ねてまいりました。これからも小さな歩みを皆様と共に喜び、子どもたち一人ひとりを大切にしながら進んでいける、そんな活動を続けてまいります。



南大阪こども食堂
ネットワーク担当

原田 優里

皆様いつも温かいご支援をありがとうございます。「子どもたちの笑顔が見たい!成長をそばで見れるのが嬉しい!」など、こども食堂を運営される皆さんの子どもたちに対する温かい想いを日々感じています。南大阪地域に子どもたちの安心できる居場所が溢れるよう、こども食堂の運営団体さんの心の支えになれるネットワークを目指します。



こども朝食堂担当

持田 かの子

2024年度は実施校が3校から5校に増え、関わってくれるスタッフも増えました。たくさんの子もたちが朝ごはんを楽しみに来てくれ、「これ食べたい!」と子どもたちのリクエストメニューも取り入れることができました。朝ごはんを食べて「行ってきます!」と元気に登校する子どもたちの姿に、スタッフ一同大きな喜びを感じています。

Thanks to Our Sponsors

ご支援くださっている企業・団体の皆様

2024年度も本当に多くの皆様からご支援いただき、ありがとうございました。
ご支援くださる皆様のおかげで活動を継続していくことができます。
本ページでは、2024年度中にご寄付くださった企業・団体様を掲載させていただきます。



株式会社 ニシハタシステム



First Design



株式会社カネイ



株式会社 清和



情報都市



株式会社あさひ賃貸住宅
泉佐野中央ライオンズクラブ
医療法人永康会若松歯科医院
株式会社向新
株式会社丸幸
てんきち

杉本シャッター工業
イベントファクトリー杉谷
医療法人たなか歯科医院
株式会社フーク
株式会社プラスワン
株式会社初亀

株式会社アイビーティージェイ
株式会社田中商事
株式会社インフィニティ
ミニード株式会社
小豆島ヘルシーランド株式会社
特定非営利活動法人キッズNPO

カーショップ ガイダンス
株式会社メイク
第一生命労働組合
株式会社サンファースト
Caffe GIUSTO
株式会社オークワ
その他匿名多数【敬称略・順不同】

ご寄付いただいている個人の皆様のお名前はホームページに掲載させていただいております。

～子ども達が未来に踏み出せる場所を創造する～



TEL:072-429-9511 E-mail:kirinkodomo@kirin-npo.com
HEAD OFFICE 大阪府泉佐野市若宮町9-3 〒598-0055

公式HP

